

肝疾患専門医療機関の指定に関する調査票

【肝疾患専門医療機関について】

愛知県では、肝炎患者が良質かつ適切な医療を受けられるよう肝疾患診療連携拠点病院を拠点として他の肝疾患専門医療機関と連携しつつ、肝疾患診療体制の整備及び推進を図っています。

肝疾患専門医療機関には、地域の病院又は診療所から紹介された肝炎患者の受け入れへの協力や、県及び拠点病院が行う肝疾患診療ネットワーク推進事業への協力をお願いします。

この調査は、本県における「肝疾患専門医療機関」を指定するための基礎資料として使用させていただきます。専門医療機関としての基準は、下段の四角枠内のとおりです。

指定を希望される場合には、調査票に回答の上、健康対策課へ送付してください。

以下の質問に対して該当するものに丸印を付けるとともに、その実績等を記入してください。記入欄が足りない場合には、別紙を添付していただいても構いません。

ご記入いただきました内容については、本県における肝疾患診療体制の整備の資料として活用するほか、診療実績等を公表することがありますことを御承知ください。

本調査票については、ホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/0000014618.html>）からワード形式で取得することができます。

愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課原爆・肝炎対策グループ

郵便番号 460-8501

住 所 名古屋市中区三の丸3 - 1 - 2

電 話 052-954-6268（ダイヤルイン）

ファクシミリ 052-954-6917

e-mail kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp

愛知県肝疾患専門医療機関の指定基準

以下に定める条件を全て見たす医療機関を専門医療機関として指定する。

- 1 専門的な知識を持つ医師（日本肝臓学会又は日本消化器病学会の専門医。常勤又は非常勤は問わない。）による診断（活動度及び病期を含む）と治療方針の決定が行われていること。
- 2 インターフェロンなど抗ウイルス療法を適切に実施できること。
- 3 肝がんの高危険群の同定と早期診断を適切に実施できること。
- 4 肝疾患診療連携拠点病院等が実施する肝疾患に関する研修会等に参加できること。

愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課 行
FAX 052-954-6917
電子メール kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp

肝疾患専門医療機関の指定に関する調査票（回答）

この調査票に関する照会先

担 当 者 職 氏 名	
連絡先電話番号	
ファクシミリ	
電 子 メ ー ル	

1 貴医療機関の情報について、お尋ねします。（この項目は公表します。）

医療機関名 （法人の場合は、 法人名も御記入 ください。）	
所 在 地	（ 〒 ）
電 話 番 号	
ウイルス性肝炎 治療の診療科名	
ウイルス性肝炎 治療の診療科の 診療曜日及び診 療時間	
患者等からの相 談窓口がある場 合の問い合わせ 先	

2 貴医療機関における専門医の配置についてお尋ねします。

現在配置しておられる日本肝臓学会又は日本消化器病学会の専門医を下欄に記入してください。

	氏名	職	常勤・非常勤の別	学会専門医の有無()	
				肝臓学会	消化器病学会
1			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
2			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
3			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
4			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
5			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
6			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
7			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
8			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
9			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
10			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
11			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
12			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
13			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
14			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医
15			常勤 非常勤	指導医 専門医	指導医 専門医

() 学会専門医について、指導医に該当される場合は、指導医と専門医の両方を選択してください。

3 貴医療機関の肝疾患及び肝がんの診療実績についてお尋ねします。

(1) 年間の肝疾患患者数（実人数、平均患者数）について、該当するものにつけてください。

・HBs抗原陽性

ア 0人 イ 1～9人 ウ 10～49人 エ 50～99人
オ 100人以上

・HCV抗体陽性

ア 0人 イ 1～9人 ウ 10～49人 エ 50～99人
オ 100人以上

(2) 年間の肝がん患者数（実人数、平均患者数）について、該当するものにつけてください。

・HBs抗原陽性

ア 0人 イ 1～9人 ウ 10～49人 エ 50～99人
オ 100人以上

・HCV抗体陽性

ア 0人 イ 1～9人 ウ 10～49人 エ 50～99人
オ 100人以上

4 現在の貴医療機関におけるB型肝炎治療について尋ねします。

抗ウイルス療法（インターフェロン、核酸アナログ製剤等）を行っている場合について、最近1年間の症例数に該当するものにつけてください。

ア 0件 イ 1～9件 ウ 10～49件 エ 50～99件
オ 100件以上

5 現在の貴医療機関のC型肝炎治療についてお尋ねします。

抗ウイルス療法（インターフェロン等）について、最近1年間の症例数に該当するものにつけてください。

ア 0件 イ 1～9件 ウ 10～49件 エ 50～99件
オ 100件以上

6 現在の貴院の肝がんの早期診断についてお尋ねします。次のあてはまるものに つけてください。

(1) 画像診断等により初期の肝がんを診断できる。(できる場合は、次のあてはまるものに つけてください。)

ア 超音波検査

イ C T検査

ウ M R I検査

エ 血管造影検査

オ 腫瘍マーカー検査

カ その他()

(2) 上記診断はできない。

(3) その他()

7 今後も肝疾患診療連携拠点病院等による肝疾患に関する研修会の開催を予定していますが、参加希望についてお尋ねします。

ア 参加をしたい。

イ 参加できない。

ウ その他()

8 その他特記事項がありましたら記入してください。